

題名	天空の散歩道 夢大吊橋
本人氏名	大野 亜寿華 (おおの あすか)
性別	女
年齢	14
受賞者氏名	山本 高司
受賞者との続柄	姪
<p>朝夕、ちょっぴり涼しくなり始めた季節。母が、久しぶりに明日は、家族がみんなお休みだから、お弁当を持って紅葉を見に、ドライブに行こうと、出かけた場所は、九重夢大吊橋でした。標高777メートル、大自然のパノラマの中に、高さ173メートル、長さ390メートルの日本一の大吊橋。こんな、高い場所にどうやって橋を架けたのか、不思議な気持ちと、あまりの素晴らしい景色に感動と同時に、大自然の壮大さの前に立ちすくんでしまいました。</p> <p>母がこの大吊橋は叔父さんが一年以上かかり頑張って作りあげた橋だから、勇気を出して渡ろうと、私の手をしっかり握り締め、大吊橋に一步踏み出す勇気をくれました。自然の中に溶け込んだ一瞬、恐怖心は薄れ、木々の香りを乗せて頬をなでる風、目の前には山々の萌えるような紅葉、太陽の光りにキラキラと輝きながらいきよよく流れる滝、まさに「天空の散歩道」だと思いました。</p> <p>学校の悩み、友人との出来事、あんな些細なことなんて、どうでもいいって気持ちにさせてくれた壮大な大吊橋。この素晴らしい大吊橋を作りあげた叔父さんを尊敬します。</p> <p>殆ど、自宅を留守しがちな叔父、我が屋のベルがピンポンと鳴り、笑顔とお土産を抱え、現場から帰って来ます。</p> <p>私が恐怖でなかなか一步が踏み出せなかった標高777メートルの現場、暑い日ざしの現場、冷たい北風が吹く寒い冬の現場、叔父達の流した汗とたくましい精神力で出来上がった素晴らしい夢大吊橋。</p> <p>この橋を作ったのは私の叔父なんだと思うと、すごい誇りとそして、叔父に負けないよう私も頑張らないといけないなと思いました。これからも、厳しい現場の中での橋作り、安全に気をつけて頑張っ て欲しいです。</p>	